北部アグリセンター便り（しづはた版）

令和8年 10月 発行

静岡市葵区下1459-1 ☎294-9330 FAX294-1635

しづはた地域購買 ： 橋本		しづはた地域専属指導 ： 松尾		
しづはた地区担当	望月 ・ 川嶋	しづはた配送担当 ： 白鳥 ・ 竹澤	女性部 ： 大越（東部兼任）	
北部営農センター（しづはた担当）	茶 ： 折山	蔬菜・水稲 ： 石井	果樹 ： 伊藤	苺 ： 宇佐美

≪お知らせ≫

★ 令和９年度の肥料年間特別予約（年特）推進が始まります ★

注文書は最寄の農協までご提出お願いします。



年特座談会を下記の日程で行います。
予約価格は、当用で購入されるよりもお得ですので、是非、年特をご活用ください。

◇ 肥料年特座談会

開催日時	会場	対象部農会
11月11日（水） 18：30～	しづはた 支店	昭府町支店管内・しづはた地区
11月12日（木） 18：30～	大河内 事務所	相渕・蕨野・横山・平野・中平・渡・梅ヶ島 ※ 有東木地区は、別途お知らせします。

※ 対象の部農会には、別途 回覧させて頂きます。

◇ 特別予約価格商品のご案内

下の銘柄は予約注文で大幅に値引きされます。
この他にも多数肥料があります。（ 詳細は注文書をご覧ください ）

銘柄	参考通常 当用価格	参考特別 予約価格	値引額
粒状固形 B 080	4,120 円	3,460 円	▲ 660 円
苦土セルカ ２号(粒)	2,140 円	1,760 円	▲ 380 円
ＪＡナイス配合	2,820 円	2,320 円	▲ 500 円
デルトップｗｉｎ	5,570 円	4,710 円	▲ 860 円
静岡果菜配合 ３号	4,420 円	3,720 円	▲ 700 円
ナイスワンパワー 823	6,940 円	5,940 円	▲1,000 円
柑橘ペレット 頂	4,560 円	3,830 円	▲ 730 円
与作 いちご専用培土	3,960 円	3,420 円	▲ 540 円

※ 情勢により価格変更する場合があります。

★ 令和９年 正月用品ご注文受付が始まります。別紙チラシをご覧ください ★

色んな食材をご用意しました！ お正月用にぜひご注文下さい。
商品受取日は 12月 25(金)、28(月)、29(火)、30(水)でお選びいただけます。

お申込み締切日 ： 令和８年 １１月 25日（水）まで

詳しくは、別紙のチラシをご覧ください。



茶

≪防 除≫

● ハマキムシ類　葉層の中で葉を重ねあって幼虫が越冬します。

《時 期》 秋整枝後

《薬 剤》 アファーム乳剤　2,000 倍（７日）

※ 浸達性がある展着剤を混用すると効果的です。

● 越 冬 ダ ニ　例年、発生密度が高いので来年の１茶対策を！

《時 期》 カンザワハダニ越冬前　11 月中下旬（ 山間地は 11 月上中旬 ）

《薬 剤》 ダニサラバ フロアブル　2,000 倍（７日）

※ ハダニは裾葉で越冬します。防除の際は、噴口の向きを変えるなどして、薬剤が裾葉の葉裏までかかるように丁寧に行ってください。

※ 今年は比較的気温が高く、ダニが発生しやすい環境でした。多発園では、防除の徹底に心掛けて下さい。

● 赤 焼 病

台風の後など激しい雨と風が起こり、葉が擦れることで感染します。
幼木園や例年、春先（３月中旬頃）に発病がみられる園では防除をお願いします。

《時 期》 秋整枝の後に防除を行って下さい。

《薬 剤》 ドイツボルドーA（500 倍）またはカスミンボルドー（1,000 倍）

● チャトゲコナジラミ　☆越冬幼虫の密度を下げるのが最大のポイントです。

① スソ・樹冠部の葉裏で越冬しますので、葉裏まで薬剤をかける。
②年明け２月の厳冬期にマシン油（ハーベストオイル） 100 倍を散布する。

※赤焼病発生の可能性がある茶園では年内のマシン油散布は行わないで下さい。

● 灰 色 か び 病　☆着花が多いと予想します　ご注意ください ！！

開花後 《薬剤》フロンサイド SC　2,000 倍　14 日

≪秋整枝（秋ナラシ）≫

《時 期》 母枝が充実し葉が濃緑色となり、平均気温が 19℃以下になった頃

《深 さ》 2 茶摘採面より、5cm 位上(3 茶葉が 2～3 節残る程度)
※ 秋整枝までに秋芽が硬化できない場合は春整枝に回して下さい。

≪再整枝（化粧ナラシ）≫

《時 期》 整枝から 14 日後 程度
※ 年内に実施しない場合は、２月下旬～３月上旬 頃

《深 さ》 秋整枝面より深くならないように注意し、遅れ芽や立ち葉を除く程度に行ってください。ゆっくりと丁寧な整枝をお願いします。

≪土壌改良≫ ７月下旬に暑くて施用できなかった場合は、冬場に施用

《袋 数》 苦土石灰(粒)など　4～5 袋／10a

イチゴ

《本圃》　株の整理とハウスの環境制御を意識しましょう。

1. 株管理
   （1）摘葉は出蕾時５枚以上になるように実施する。（収穫時期は 7～8 枚管理とする。）
   （2）２芽になるよう、わき芽を整理する。（ドロ芽は除去する。）
   （3）頂果房の摘果は 7～10 果を目安に。
   　※　株出来が悪い状態で、出蕾してしまった場合はきつめに摘果する。
   （4）少量多頻度灌水を基本とする。（給液量は吸水量の 1.5 倍を目安に）
   （5）定期的に給液及び排液の確認をしてください。（EC、PH、排液量）
   　※　適当な容器に入れ営農指導員にお持ち込頂ければ、無料で測定致します。
   　※　排液はバケツなどに１日分を溜めておいたものを持って来てください。



2. ミツバチ管理
   （1）導入のタイミングは１番の出蕾を確認した時点です。
   （2）到着後すぐには解放せず、蜜蜂が落ち着いたら夕方か夜、早朝に開放してください。
   　※解放までは、網窓にしておき通気性を確保する。
   （3）蜜蜂は導入後すぐに訪花せず、2～7 日ほど偵察バチがハウス環境を確認してから、働きバチが訪花活動を行います。
   （4）エサの蜜をあげすぎると、蜜を巣穴にため込みすぎて次の子孫を残せなくなります。訪花活動も鈍りますので、基準量を守りましょう。
   　（納品直後の巣箱の重さが概ね蜜の入っている適正重。）
   　目安（どれどれ）：納品１週間後、その後 7～10 日間隔で給餌。150～200ml/回施用。
   　※日中のハウス内気温が 18 度以下になるハウスは 2～3 週間に１回。
   （5）厳寒期は毛布などを巣箱にかぶせ保温してあげましょう。
   （6）ミツバチの定着が悪い場合は、誘引剤を使いましょう。
   　（ビーセントルアーやカモンビービー等）

3. 温度管理　　基本の温度 25℃～27℃（日中）を意識して、管理しましょう。
   （1）保温開始目安：最低気温が 10℃を下回ってから（きらぴ香の場合は 12℃です。）
   　※基本は保温開始の目安のため、２番の検鏡を実施しましょう！！

4. 天敵の利用に応じた薬剤選択と管理
   ☆天敵の導入のポイント☆
   ①ミヤコの生育零点は 8.6℃、チリの生育零点は 11.6℃です。
   ②放飼前にハダニの防除を徹底しておきましょう。（極力ゼロ放飼でお願いします。）
   ③天敵放飼後２週間は薬剤散布と葉かきを控え、定着をうながしましょう。
   ④定着をうながす為、ハウス内湿度を上げましょう。（目標６０%以上）
   ⑤放飼後にハダニが発生した場合は気門封鎖剤をスポット散布し、チリの追加放飼も有効です。

天敵（ミヤコ・チリ）利用時に注意したい薬剤　※一部抜粋です。散布時には必ず確認を。

薬剤名	RAC	収獲前日数	天敵（ミヤコ・チリ）	蜜蜂	マルハナバチ
グレーシア（乳）	30	前日	100 日以上	1 日	1 日
サンマイト（フ）　劇	21A	収獲開始３日前	30 日	4 日	1～4 日
ポリオキシン AL（水溶）	19	収穫開始 14 日前	14 日	1～2 日	0 日
モスピラン顆粒（水溶）　劇	4A	前日	14 日	1 日	1～3 日
カスケード（乳）	15	前日	ミヤコ（7 日）	1～2 日	2 日
コロマイト（水）	6	前日	7 日	1 日	1 日
アファーム（乳）	6	前日	7 日	2 日	2 日

水稲



1. 貯蔵時の害虫対策
   （1）玄米を十分に乾燥させネルパックにエージレスを入れて保管する
   　・ネルパック（真空貯蔵袋）１袋で玄米 30kg を貯蔵できる
   　・エージレス（脱酸素剤）の効果持続は１年間。効果の切れた物と入れ替えて使用する。
   （2）保管場所にクズ米やヌカが落ちていないようにきれいに掃除しておくこと
   （3）15℃以下で保存する（害虫が活動を停止する温度）

2. スクミリンゴガイ対策（ジャンボタニシ）
   収穫後に耕運し、ジャンボタニシを破砕する。また厳寒期に耕起し越冬中の貝を寒さにさらす。
   耕運速度は遅く回転数を早くすることで殺貝効果を上げる

玄米品評会　出品者募集！！ *（食味検査、外観審査）*
規　格：うるち玄米 500g（氏名・連絡先・品種名を明記）
提出先：しづはた営農出張所　　締切：11 月 20 日（金）まで

野菜　～秋冬アブラナ科野菜～

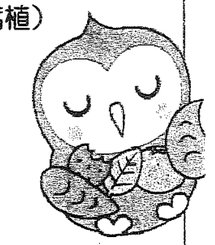


ヨトウの発生数が増加します。早期防除を！

薬剤名	RAC	キャベツ	ハクサイ	ダイコン	ブロッコリー
アファーム(乳)	6	1,000～2,000 倍 前日・３回以内	1,000～2,000 倍 ７日前・３回以内	1,000～2,000 倍 ７日前・３回以内	1,000～2,000 倍 ３日前・３回以内
プレオ(フ)	UN	1,000 倍 ７日前・２回以内	1,000 倍 ７日前・２回以内	1,000 倍 14 日前・２回以内	1,000 倍 ７日前・２回以内
デルフィン顆粒（水和）	11A	1,000 倍 前日・回数-	1,000 倍 前日・回数-	1,000 倍 前日・回数-	1,000 倍 前日・回数-

野菜・水稲土壌診断の実施について

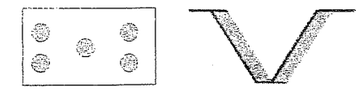
★分析項目　　７項目（pH、EC、石灰、苦土、加里、リン酸、腐植）



☆分析料金　１検体　１,３３０円（税込）
　※代金は購買代金引落口座より翌月引落させていただきます
☆提出締切：１１月 13 日（金）までにしづはた営農出張所までご提出ください。
　※結果のご連絡まで１か月以上かかります。ご了承ください

☆サンプリング方法
(1) 圃場内の５ヶ所位から採土し混合する※　(2) 日陰で新聞紙の上に広げて、よく乾燥させる
(3) 土塊を砕き１mm目のふるいにかける
(4) ふるいにかけた**乾いた土 350g 以上**を袋に入れる
(5) **「住所」・「氏名」・「電話番号」・「作物名」・「施設・露地」**などを明記して提出する

※右の図のようにそれぞれの場所で表土を外して
深さ 15cm 程度Ｖ字型に掘り斜面に沿い２cm採土する



農薬購入時には印鑑を！　毒劇物に指定されている農薬は劇と表記してあります。購入の際には必ず印鑑（認印）をご持参ください。

《柑橘》

極早生の出荷もほぼ終了し早生温州の収穫時期が近づいてきました。本年はカメムシが大発生しています。園地による差もありますが、十分に注意して下さい。カメムシはフェロモンにより仲間を呼び寄せますので、園地で見かけたらすぐに防除をして下さい。（スタークル顆粒水溶剤・ロディー乳剤等）

・柑橘の管理

① 樹上選果（青島温州）：粗皮果、大玉果（3L 以上）など外観不良果の除去を行う。天成り果は結果枝ごと除去する。（採収まで）

② 収穫（早生、青島温州）：収穫前に防腐剤を散布し、早生温州は完全着色で収穫。青島温州では年明け出荷するものは、7分～8分着色で収穫（11 月 20 日頃より）することにより、浮皮果・鳥獣害被害の軽減となります。

③ 夏秋梢の処理：結実不良樹の夏秋梢の処理を行う。中晩柑の夏秋梢は、カイヨウ病の感染源となるので必ず処理をする。

・温州みかん防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	使用基準
収穫前	貯蔵病害	ベルクート水和剤　2，000倍	前日―3回
		ベンレート水和剤　4，000倍	前日―4回

※ベルクート水和剤の中晩柑類への使用に当っては、使用回数が2回となりますので、ご注意下さい。

※ダニが発生した場合カネマイトフロアブル 1,500 倍（7 日―1 回）で散布する。

※台風の接近が予想される場合には、スルガエレガント・はるみ等中晩柑類は、かいよう病の多発が懸念されるので、コサイド 3000　2,000 倍＋バイカルティ 1,000 倍を予防散布する。早生温州・青島温州では、褐色腐敗病の発生が懸念されますので、ランマンフロアブル 2,000 倍（前日―3 回）を予防散布する。

・秋肥の施用

青島温州・ポンカン	11月上旬	みかん50ペレット	6袋／10a
不知火・はるみ	11月上旬	みかん50ペレット	4袋／10a

《落葉果樹》

11月中下旬になると、落葉果樹の定植時期となります。（イチジクは、3月定植）

・植付にあたり

植付前日までに、植穴に完熟堆肥・苦土セルカ等を投入し、10 ㎝程度の高畝にすることが望ましい。

ハイフミンハイブリットG3kg・ネバリン1kg／穴を投入すると細根の発生促進やモンパ病

への効果が得られる。植付時に太根の先端を少し切ることにより、発根促進できる。

・植付時の注意事項

作業中に根を絶対に乾かさないこと。根の間に土をしっかりと入れ、水を十分与える。

深植えにしない。（接木部を出す）植付後、乾燥しないように敷き藁等を行う。

風当たりが強い場所では、支柱に誘引固定する。

枝は、２月中旬に60㎝～100㎝程度の位置の充実した芽で切返す。

施肥は、枝葉が伸びだしてから分施する。